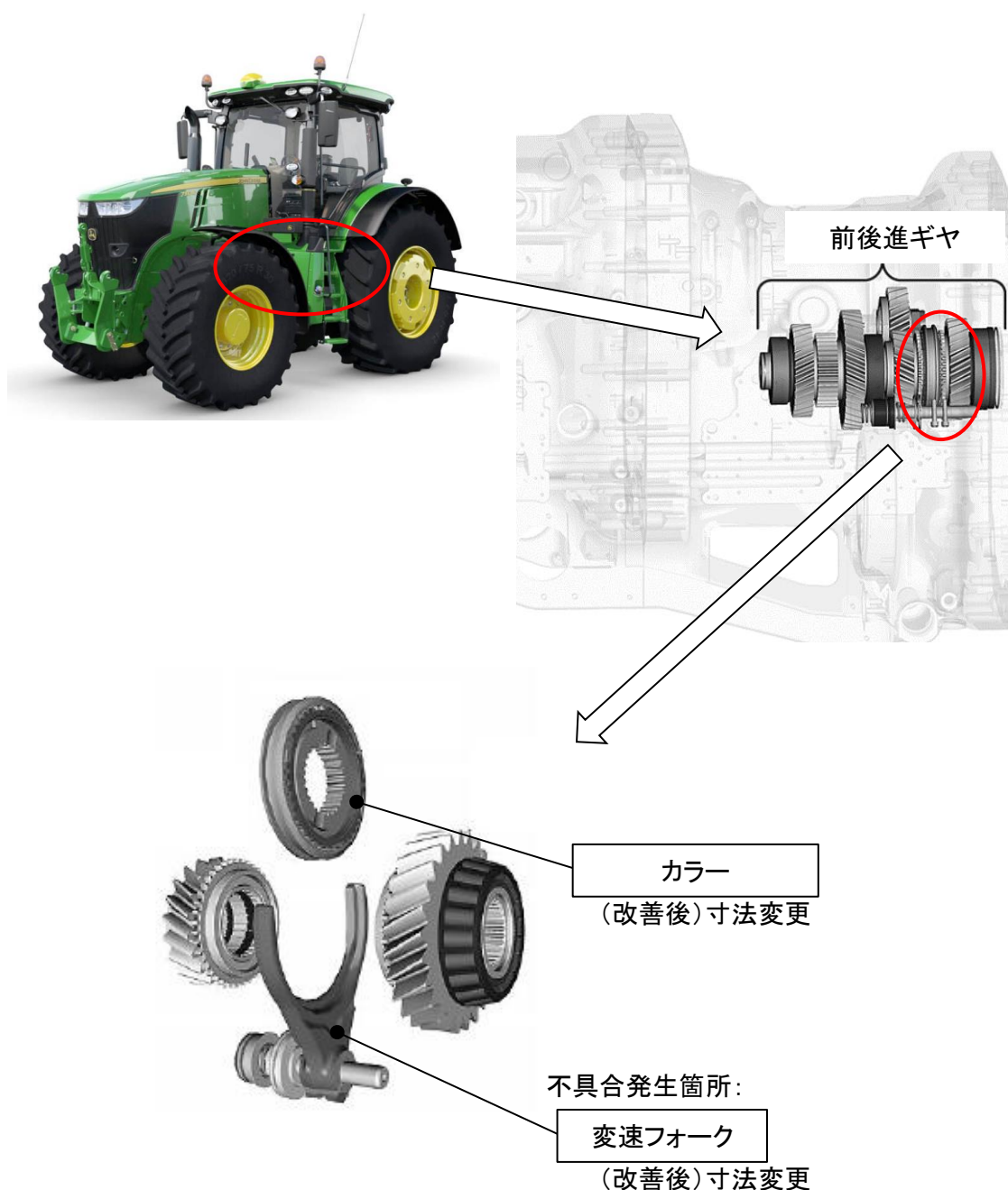


改善箇所説明図①



不具合発生箇所

農耕トラクタの前後進ギヤにおいて、部品寸法公差のばらつきにより変速フォークとカラーが干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、変速フォークが摩耗し、最悪の場合、当該フォークが破損して前後進ギヤの切替えができなくなるおそれがある。

改善内容

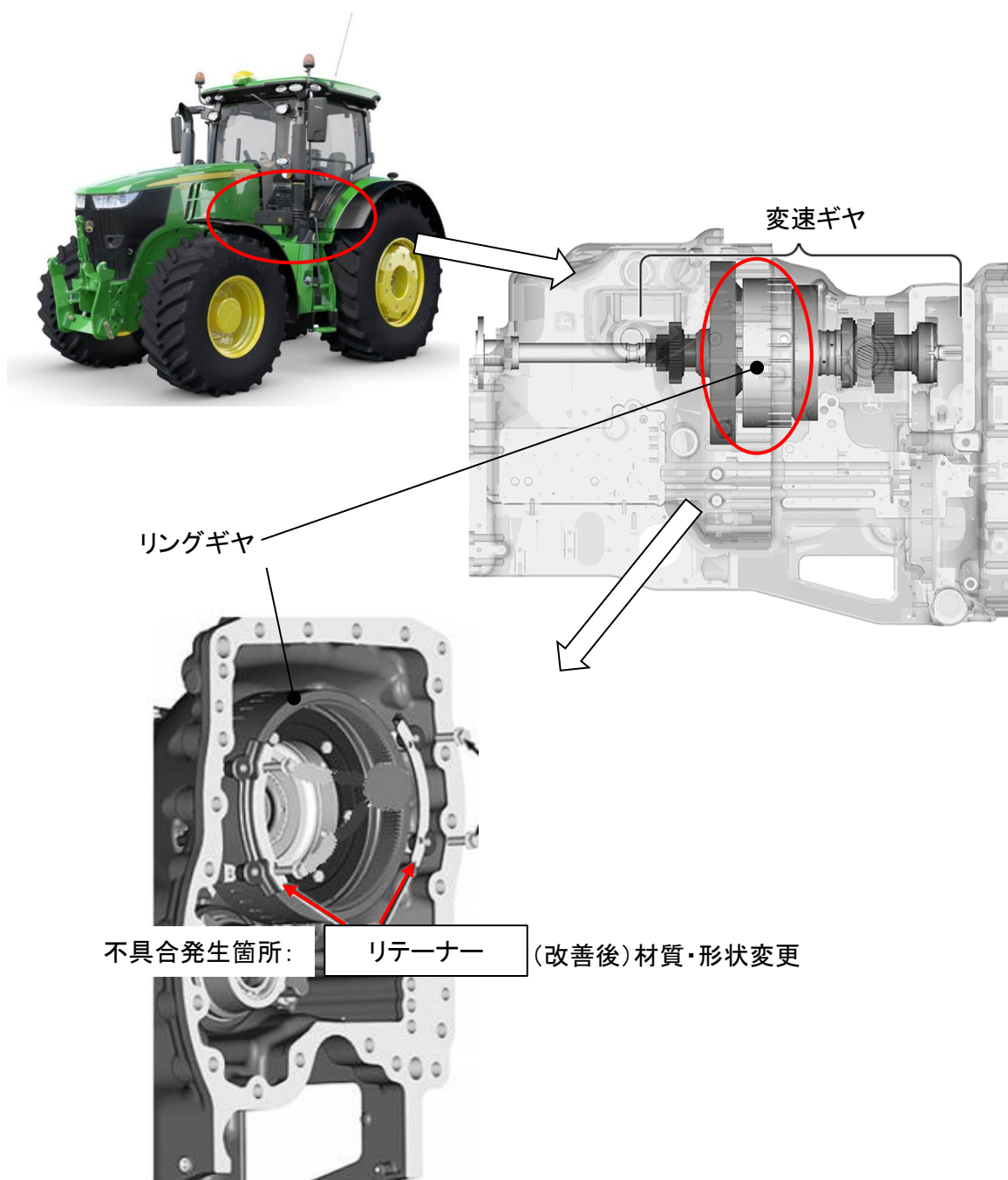
全車両、変速フォーク及びカラーを対策品に交換する。なお、ギヤが破損している場合は、トランスミッションを対策品を組み込んだ新品に交換する。

は、交換部品及び、追加部品を示す。

識別

トラクタ右側、エンジンとトランスミッションの合わせ面ボルトの上部にあるボルトに白色塗料にて識別をする。

改善箇所説明図②



不具合発生箇所

農耕トラクタの変速ギヤにおいて、リングギヤを保持するリテーナーの強度設計が不適切なため、当該リテーナーの強度が不足している。そのため、変速時等の負荷によりリテーナーが損傷し、最悪の場合、ギヤが正しく噛み合わず走行できなくなるおそれがある。

改善内容

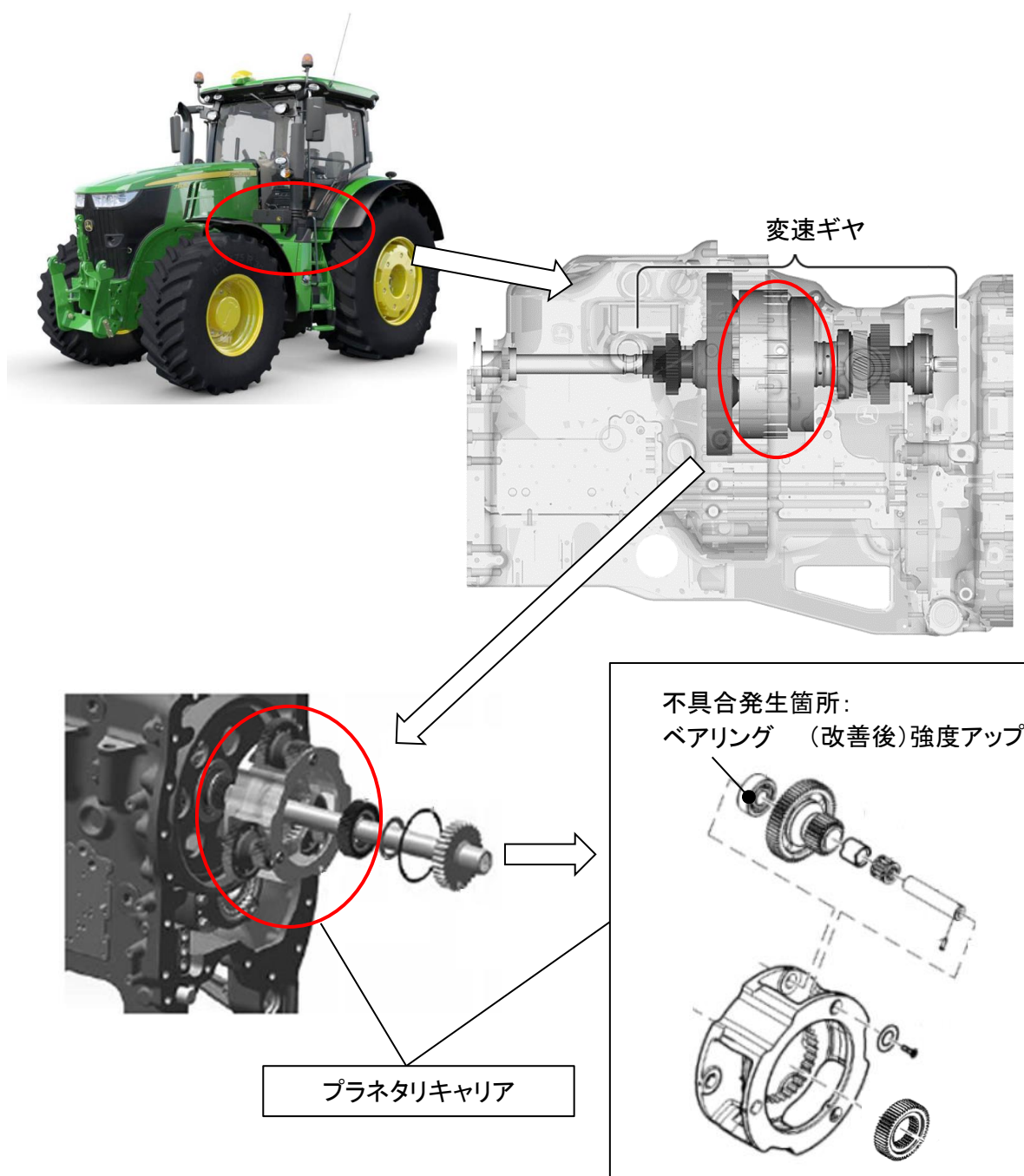
全車両、リテーナーを対策品に交換する。なお、ギヤが破損している場合は、トランスミッションを対策品を組み込んだ新品に交換する。

は、交換部品及び、追加部品を示す。

識別

トラクタ右側、エンジンとトランスミッションの合わせ面ボルトの上部にあるボルトに白色塗料にて識別をする。

改善箇所説明図③



不具合発生箇所

農耕トラクタの変速ギヤにおいて、プラネタリキャリアのベアリングの選定が不適切なため、当該ベアリングの強度が不足している。そのため、変速時等の負荷により当該ベアリングが破損し、最悪の場合、ギヤが正しく噛み合わず走行できなくなるおそれがある。

改善内容

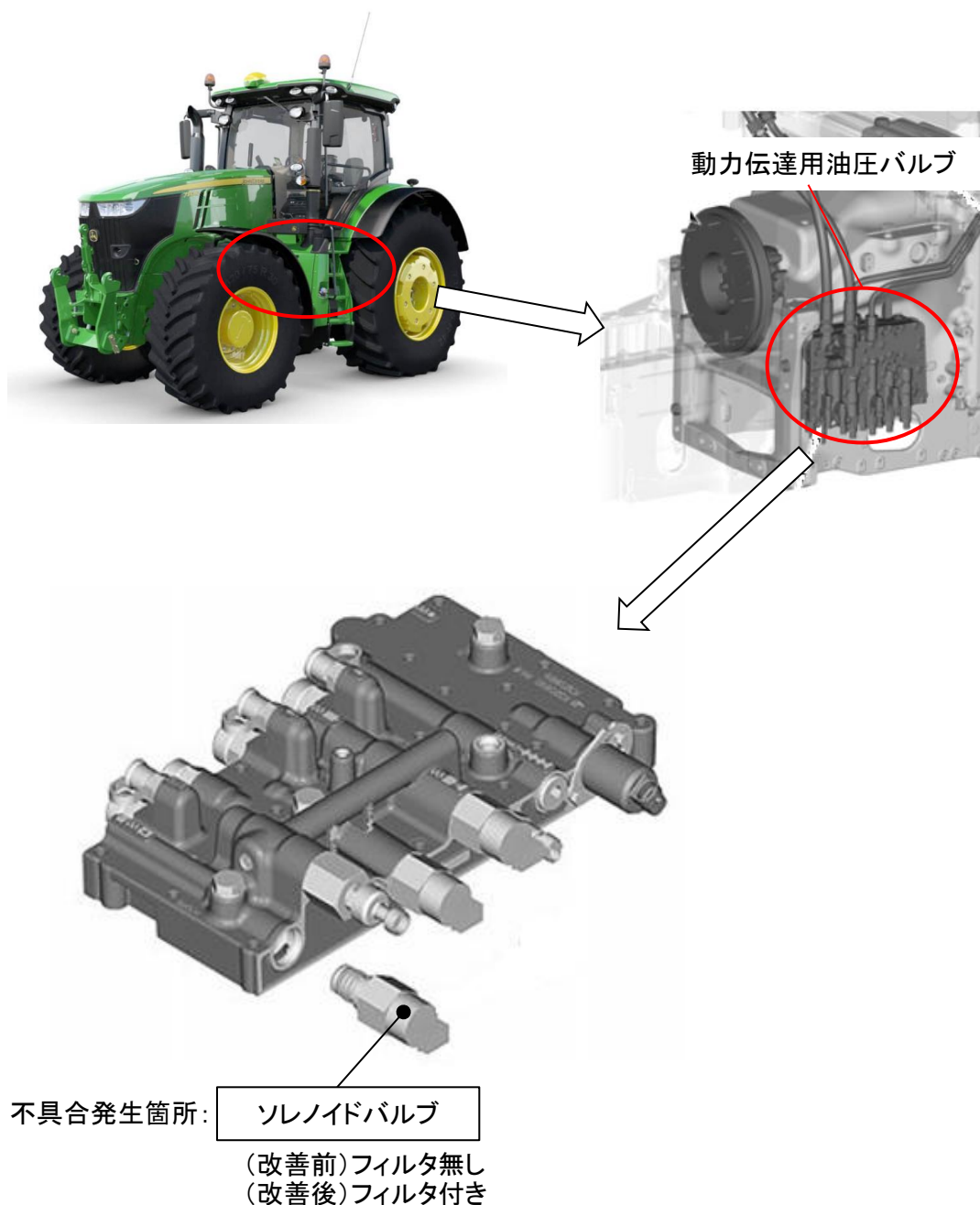
全車両、プラネタリキャリアを対策品に変更する。なお、ギヤが破損している場合は、トランスミッションを対策品を組み込んだ新品に交換する。

は、交換部品及び、追加部品を示す。

識別

トラクタ右側、エンジンとトランスミッションの合わせ面ボルトの上部にあるボルトに白色塗料にて識別をする。

改善箇所説明図④



不具合発生箇所

農耕トラクタの動力伝達用油圧バルブにおいて、当該バルブの構造が不適切なため、作動油中のごみ等がソレノイドバルブに混入することがある。そのため、ソレノイドバルブが固着して正しく動作せず、最悪の場合、正常に走行できなくなるおそれがある。

改善内容

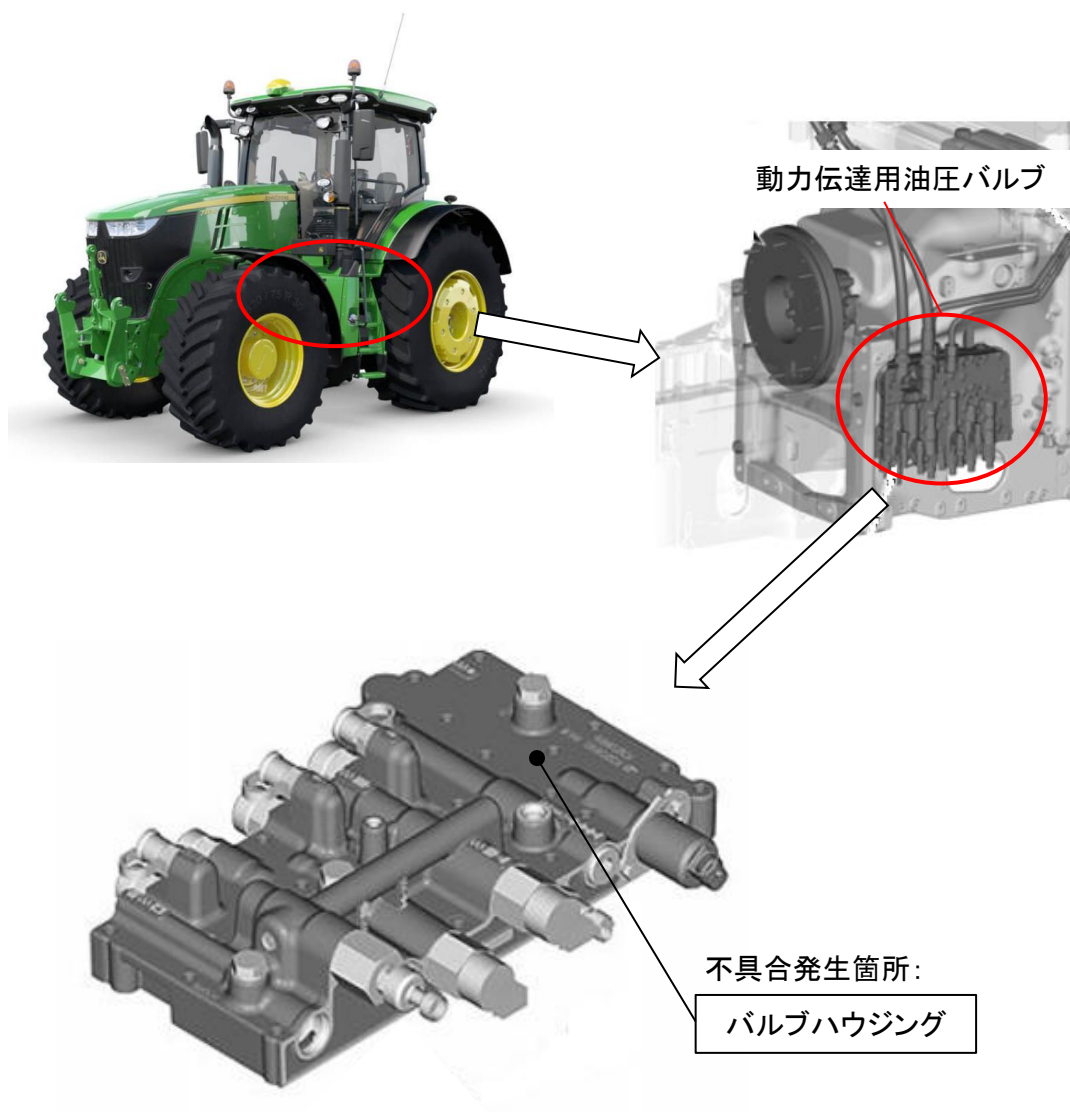
全車両、ソレノイドバルブを対策品に交換する。

□ は、交換部品及び、追加部品を示す。

識別

トラクタ右側、エンジンとトランスミッションの合わせ面ボルトの上部にあるボルトに白色塗料にて識別をする。

改善箇所説明図⑤



不具合発生箇所

農耕トラクタの動力伝達用油圧バルブにおいて、製造工程が不適切なため、バルブハウジングに鑄巣が発生しているものがある。そのため、バルブハウジング内で油が漏れ、最悪の場合、油圧を正しく制御できず、正常に走行できなくなるおそれがある。

改善内容

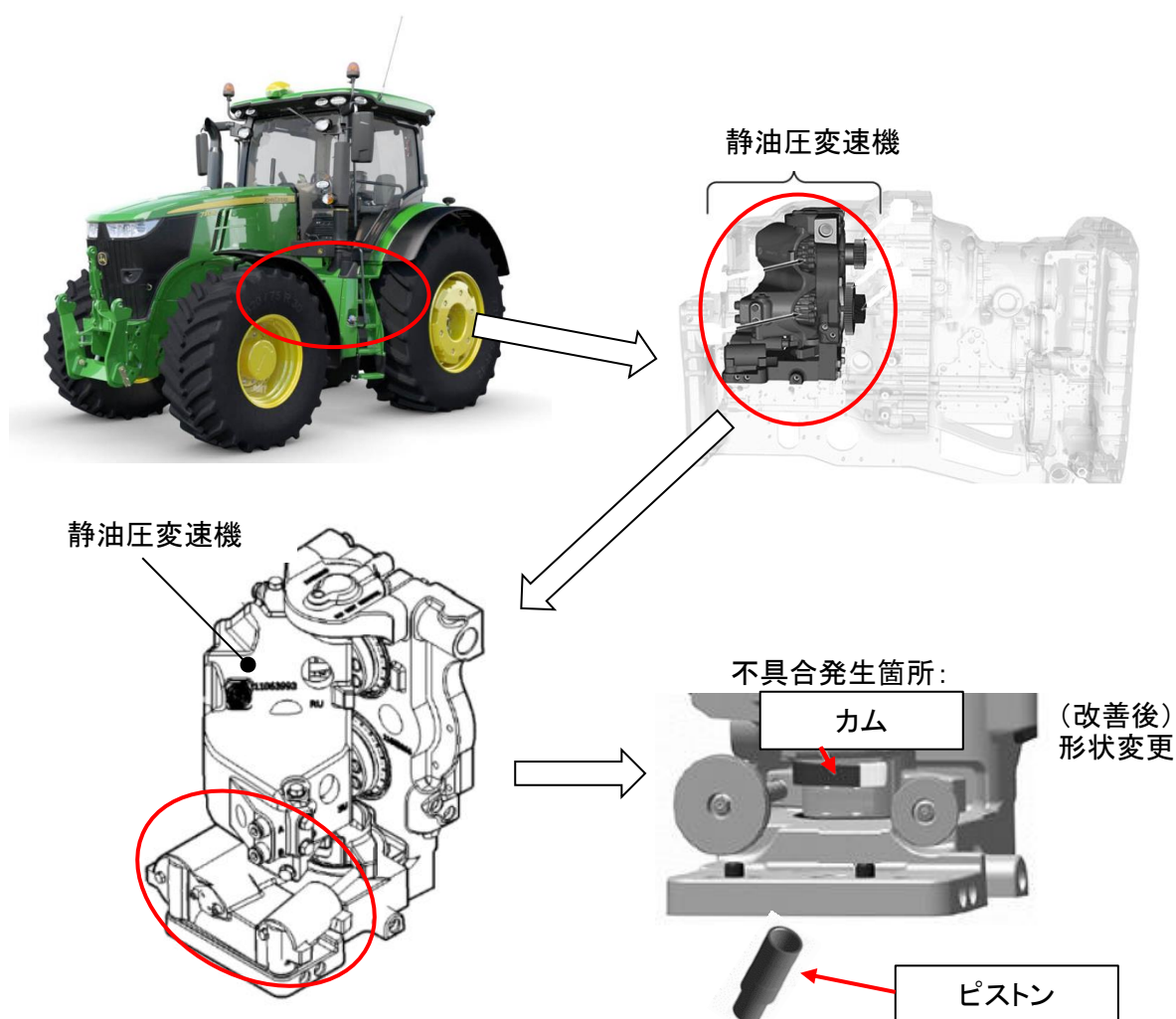
全車両油圧を点検し、油圧が正常でないものは、バルブハウジングを良品に交換する。

□ は、交換部品及び、追加部品を示す。

識別

トラクタ右側、エンジンとトランスミッションの合わせ面ボルトの上部にあるボルトに白色塗料にて識別をする。

改善箇所説明図⑥



不具合発生箇所

農耕トラクタの静油圧変速機において、油圧を制御するカムの形状が不適切なため、変速時にカム及びピストンが摩耗することがある。そのため、最悪の場合、油圧を正しく制御できず、正常に走行できなくなるおそれがある。

改善内容

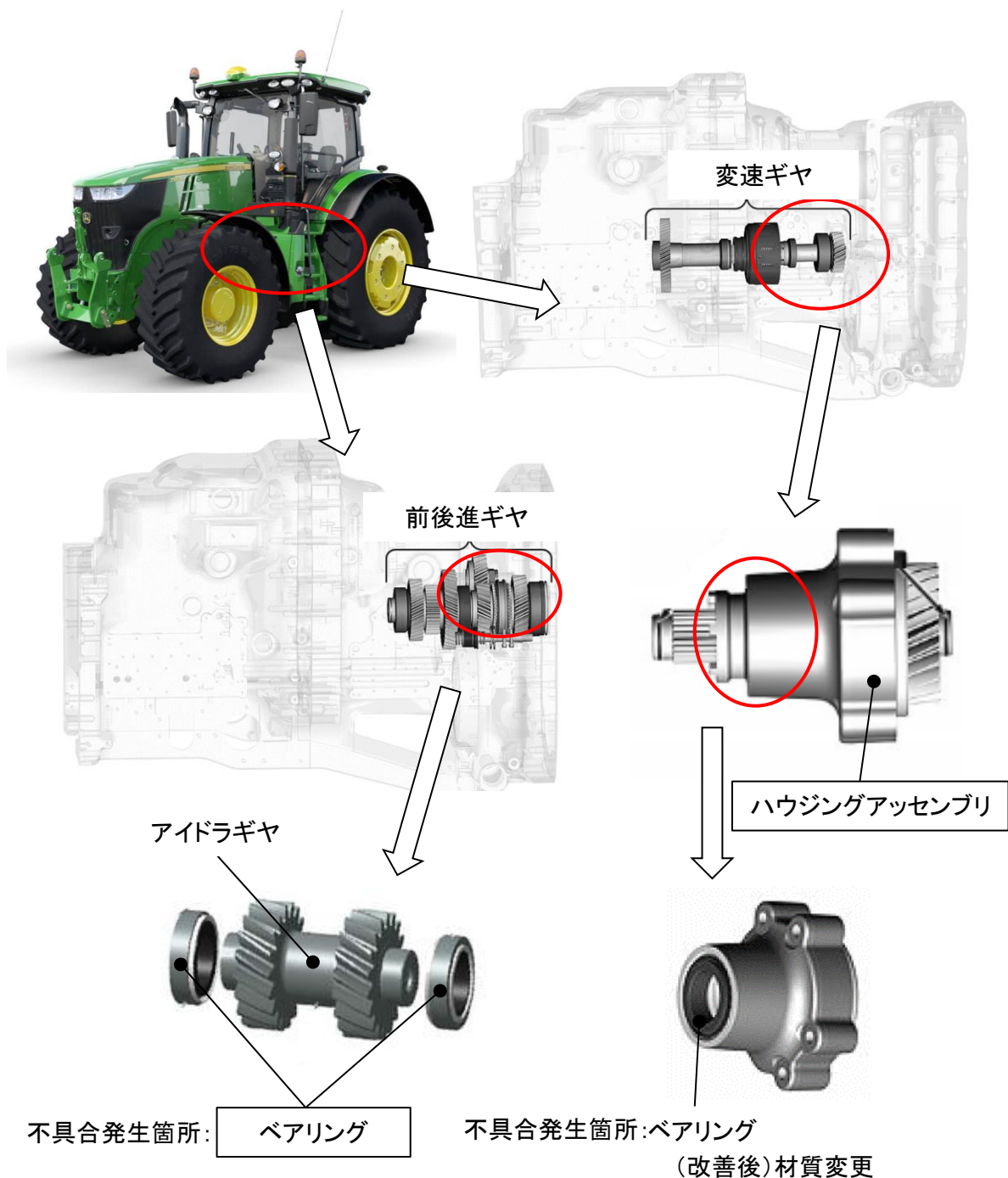
全車両、カムを対策品に交換し、ピストンを新品に交換する。

□ は、交換部品及び、追加部品を示す。

識別

トラクタ右側、エンジンとトランスミッションの合わせ面ボルトの上部にあるボルトに白色塗料にて識別をする。

改善箇所説明図⑦



不具合発生箇所

農耕トラクタの変速ギヤ及び前後進ギヤにおいて、ハウジングアッセンブリとアイドルギヤのベアリングの選定が不適切なため、当該ベアリングの強度が不足している。そのため、変速時等にかかる負荷により当該ベアリングが破損し、最悪の場合、ギヤが正しく噛み合わず、走行できなくなるおそれがある。

改善内容

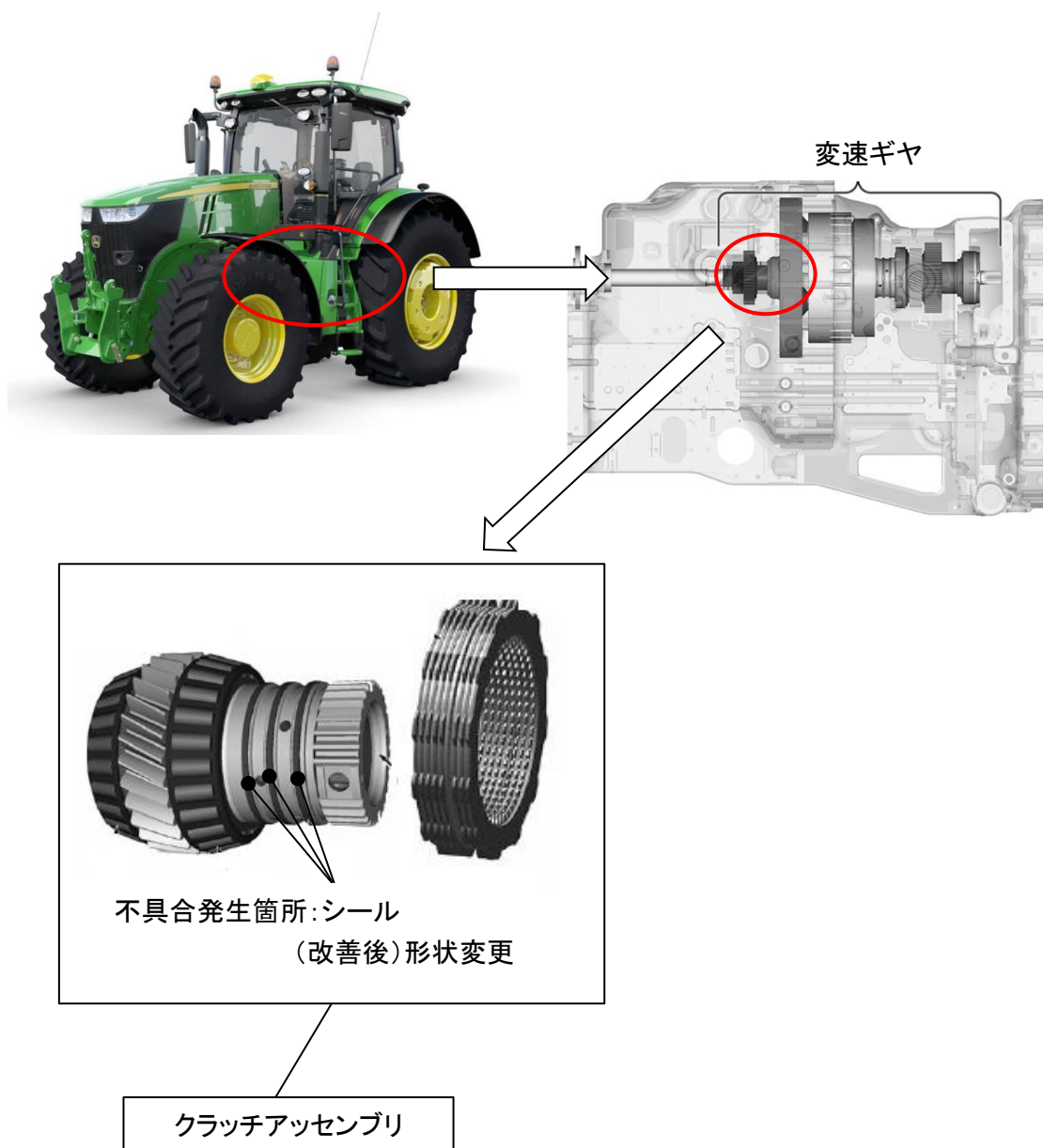
全車両、各ベアリング(変速ギヤについてはハウジングアッセンブリ)を対策品に交換する。なお、ギヤが破損している場合は、トランスミッションを対策品を組み込んだ新品に交換する。

□ は、交換部品及び、追加部品を示す。

識別

トラクタ右側、エンジンとトランスミッションの合わせ面ボルトの上部にあるボルトに白色塗料にて識別をする。

改善箇所説明図⑧



不具合発生箇所

農耕トラクタの変速ギヤにおいて、高速側ギヤのクラッチ部のシールの選定が不適切なため、当該シールの強度が不足している。そのため、走行時等の負荷によりシールが破損し、最悪の場合、油圧が保持できず、高速走行できなくなるおそれがある。

改善内容

全車両、クラッチアッセンブリを対策品に交換する。

は、交換部品及び、追加部品を示す。

識別

トラクタ右側、エンジンとトランスミッションの合わせ面ボルトの上部にあるボルトに白色塗料にて識別をする。